PRIMERGY RX800 ご使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY (プライマジー) RX800 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる上での注意点がありますので、本書をよくお読みの上、ご使用ください。

2004 年 3 月 富士通株式会社

(1) 『ユーザーズガイド』記載内容の訂正

訂正箇所: P54 の手順 19

入力するコマンドに、数箇所スペースを入力するように記述されていますが、以下のとおり、スペースは1箇所のみ入力し てください。

A:¥>spman -cmda=0xE002,0x1440,0,0, < システム管理ポートの IP アドレス >

スペース

(2) SCSI アレイコントローラカード (PG-142D) をご使用の場合

SCSI アレイコントローラカード(PG-142D)をご使用になる場合には、SCSI アレイコントローラカード(PG-142D)に対して、 以下の設定を行ってください。

設定項目	設定値
EBDA Relocation	Enable(Check)

POINT

▶ 設定方法については、SCSI アレイコントローラカード (PG-142D) に添付の取扱説明書を参照してください。

(3) SCSI アレイコントローラカード (PG-142E) をご使用の場合

POST 中に以下のメッセージが表示されますが、エラーを示すものではありません。

Failed to get real-memory thru PMM. BIOS will use conventional memory of its own.

(4) ServerStart を使用してインストールした場合

ServerStart を使用して、Windows Server 2003 または Windows 2000 Server をインストールした場合、古いバージョンの RAS 支援サービスが自動的にインストールされます。

『ユーザーズガイド』の「6.1 RAS 支援サービス」を参照して、新しいバージョンの RAS 支援サービスを PRIMERGY ドキュ メント&ツール CD からインストールしてください。

POINT

▶ 古いバージョンをご使用になると、交換の必要のない部品に対して寿命警告が表示されることがあります。

(5) リモートサービスボード用 AC アダプタについて

本サーバに標準搭載のリモートサービスボードには、AC アダプタを接続しないでください。 ServerView によるサーバの監視ができなくなる場合があります。

(6) ServerView による CPU 表示について

ServerView コンソールの「ベースボード」画面で、搭載されている CPU の一部が表示されない場合があります。CPU が正常に 認識されているかは、「環境」画面で各 CPU の温度 ()の値が表示されていることを確認してください。

なお、本現象は表示のみの問題であり、その他の機能については問題ありません。

本現象は、以下のどちらかの方法で復旧できます。

・システムを再起動し、電源オフ / オンを行う。

・復旧ツールを使用して、以下の操作を行う。

サーバ本体に添付の、Server Management Tool フロッピーディスクを準備します。

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

A:¥svtool¥SvRecovery¥SvRecovery.bat

約7分で、復旧処理が完了します(コマンド実行画面が消えます)。

(7) ServerView の自動再起動

システムが高負荷状態のとき、ServerView でサーバを監視できなくなる場合があり、以下のメッセージ(警告)がイベントログ に通知されます。

イベントログ(アプリケーション) ソース名:ServerViewAgents 種類:警告 イベント ID:10610 説明:Communication with the server management controller in cabinet 0 of server xxxx lost. (xxxx は、 サーバ名)

本現象は、以下のどちらかの方法で復旧できます。

・システムを再起動し、電源オフ / オンを行う。

・ServerView を、手動、または自動で再起動する。

【手動で再起動を行う場合】

「スタート」ボタン 「プログラム」「Fujitsu ServerView Agents」「Diagnostic Tools」「Restart ServerView Base Services」の順にクリックします。

「Search for management hardware」を有効にして、[Restart]をクリックします。

【自動で再起動を行う場合】

自動再起動ファイルを、以下のディレクトリ直下にコピーします。

ファイル名:SvRestart.bat、sleep_tool.exe ディレクトリ:%SystemDrive%¥Program Files¥Fujitsu¥F5FBAG01

自動再起動ファイルは、以下にあります。

[サーバ本体に添付の Server Management Tool フロッピーディスク]: ¥svtool¥SvRestart

サーバー覧の確認

ServerView を起動し、サーバの一覧に監視対象とするサーバが表示されていることを確認します。

一覧に表示されていない場合には、サーバの一覧に追加してください。

🔁 Fujitsu Server View	- サ <mark>ーバ管理</mark> - サ	-バの一覧							<u>- 0 ×</u>
ファイル(E) 編集(E) 新	表示(1) 多スク(1)	設定(S)	77-4(<u>A</u>)	レポート(<u>R</u>)	しきい値	1回 ゲール田	<u> </u>)	
🛃 X 🖻 🛍 🧯	1 🗄 🔊	? №?	マネージ*e(モニタ(O)	M)	1 0	0 🔛	0 ?0	9 D	
	2サーバの一覧		設定の						
M	A すべてのサ	-A*	アラームをき	受領(K) 頃(A)					
サーハ管理	55 / 0 /	ŀ	3. C.J.	1 44620	I 🔼 V	laun a		6°; 0	
		þ	7680 V RX800	17.7		10.171.231.147	PRIMERGY RX800	Windows 2000	SP 4
パージョン管理									
ServerView									
፻፹ ፖーカイブ" マネ									
			4						
<u> -</u>		P	·		_				
アラーム サービスの設定を開	きます						1	2 NU	M//

POINT

▶ 登録後にサーバ名または IP アドレスの変更を行った場合、サーバー覧の再設定が必要です。

ServerView AlarmService の設定

- 「アラーム」メニューの[設定]をクリックします。
 SeverView AlarmService の設定画面が表示されます。
- 2. 「アラームグループの作成/編集」をチェックして、[次へ]をクリックします。

「アラームグループの作成/編集」画面が表示されます。

Pラームヴルーブの作成/編集 - Micros	oft Internet Explorer			_D×
<mark> 『『「」</mark> アラームグル	ノープの作成/編集			*
アラームグループ名	Syflestart	- アラームの選択 - アラームの並べ替え		ור
既存のアラームグループを選択	SvRestart 💌	○重要開別 ○ 名前順	○ 種類別 ○ ファイル別	
-サーバの選択		SC.mib	拉大	
サーバの一覧 屋全て	グループに居するサーバ	アラームの一覧	グループに属するアラーム	
RX800	*** *** ***	Cold start Cold start Cold start Communication es Communication lo Configuration lo Configuration Inval	>>>> Communication lost	
	<全て	Configuration On D	< ± T	
	技報	Configuration On E	1898	
次へ 戻る	通用 削除	林7	印刷ブレビュー ヘルブ	
				×

3. [適用]をクリックし、[次へ]をクリックします。 「アクションの作成 / 編集」画面が表示されます。

Pウションの作成 / 編集 - Microsoft Internet Explor	er	_ [0] ×
<mark>FUJITSU</mark> アクションの作成	戈 / 編集	*
アラームグループの一覧	選択グループのアクション	
SvRestart Automotic Service Mail	□ メール ▶ 有効	
	■ ポップアップ	
	□ □ ∅	
	- ボケットベル	
	 コマンド実行 	
	ブロードキャスト	
	□ <u>ステーション</u> EDB/プレビュー	
in in iteration	通明 終了 ヘルブ	

4. [ポップアップ]をクリックします。

叠 ポップアップ設定の作成 / 編集: SvRestart グルーナ - Microsoft Internet Explorer 📃 🔲 💌		
FUJITSU ポップアップ設定の作成 / 編集: SvRestart グ	ループ	
設定の一覧:ボッブアップ 選択された設定		
Source Control of Cont		
通明 原る 印刷 グレビュー へルブ Swering	Ľ,	

- 5.「Default_Popup」を選択し、[<<<]をクリックします。
- 6. [適用]をクリックし、[戻る]をクリックします。 「アクションの作成 / 編集」画面に戻ります。
- 7. [コマンド実行]をクリックします。

以下の画面が表示されます。

/●コマンド実行論定の作成 / J編集: SvRestart グループ - Microsoft Internet Explorer	_O×
FUJITSU コマンド実行設定の作成 / 編集: SvRestart グ	ループ
設定の一覧:コマンド実行 選択された設定	
>>> (705 	
<u>通明</u> 度5 名崩力レビュー へルブ	

- 【項目設定値】 アラームグループ名 SvRestart を入力します。

サーバの選択 グループに属するサーバに、対象とするサーバ (例:RX800)を選択します。

アラームの選択 グループに属するアラームに、対象とする Trap 「Communication lost」を選択します。

- 【項目設定方法】 1.「アラームの並び替え」で「ファイル別」を クリックし、リストボックスで「SC.mib」 を選択します。 2.「アラームの一覧」のリストボックスから 「Communication lost」を選択し、[>>>]
 - をクリックします。

8. [作成]をクリックします。
 「コマンド実行の設定」画面が表示されます。
 9. ServerViewの再起動コマンドの設定を行います。

🖉 コマンド実行の	定 - Microsoft Internet	Explorer
FUĴÎTSI	リコマンド実	行の設定
	名前	SvRestart
	コマンド	SvRestart.bat
	作業用ディレクトリ	C:WProgram FilesWFujitsuWFSFBADD1
	タイムモデル	always Schutzen
	OK	キャンセル (印刷ブレビュー

【項目設定値】

_O×

名前 例:SvRestart

コマンド SvRestart.bat

作業用ディレクトリ %SystemDrive%¥Program Files¥Fujitsu¥F5FBAG01

- 10. [OK]をクリックします。
- 「コマンド実行設定の作成/編集」画面で、作成した名前が選択されていることを確認します。
- 11. [適用]をクリックし、[戻る]をクリックします。 「アクションの作成 / 編集」画面に戻ります。

▲コマント実行設定の作成 / 編集: SyRestart グループ - Microsoft Internet Explorer	×
FUJITSU コマンド実行設定の作成 / 編集: SvRestart グ	`ループ
設定の一覧:コマンド実行 選択された設定	
	1

12. [次へ]をクリックします。

以下の画面が表示されますので、全設定の確認をしてください。

● 全部での先 = Menosch Remote Ladow FUITSU 全設定の表示	【項目設定値】 アラームグループ 作成したアラームグループ「SvRestart」が表示
ルート 灌訳: アラームグループ に属するアラーム とサーバ 及びアクション	されます。
でアラームジルージ Defestion でアラーム でアラーム でアウンコン	に属するアラーム 選択した Trap「Communication lost」が表示され ます。
IF #05	とサーバ 選択したサーバ名(例:RX800)が表示されます。
	及びアクション 作成したアクション名「SvRestart」が表示され ます。

以上の項目が正しければ、ServerView AlarmService の設定は終了です。

- 13. [終了]をクリックし、「アラームの設定」画面が表示されたら[終了]をクリックします。
- 14. ServerView AlarmService 画面と ServerView 画面を終了します。



